

教科 保健体育 科

| 科目 | 保健 | 学年・コース | 2 学年 | コース | 単位数 | 1 単位 | 区分 | 必修 |
|-------|---------------|--|------|---|--|------|----|----|
| 学習の目標 | | 1 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、知識・技能を身に付ける。 2 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 3 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 | | | | | | |
| 教科書 | | 現代高等保健体育 発行者:大修館書店 | | | | | | |
| 補助教材等 | | | | | | | | |
| 学期 | 月 | 学習内容 | | | 学習のねらい | | | 時間 |
| 1 | 4 | 「保健」学習について | | | 「保健」学習の意義、評価の方法等の確認 | | | 1 |
| | 5 | 2 生涯を通じる健康 (1)生涯の各段階における健康 | | | ・思春期における健康と他者理解を深める。 ・受精、妊娠・出産、それにとまなう健康問題を理解する。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶に関わる正しい知識を身につける。 ・加齢における心身の変化や、健やかな高齢生活を送るために、高校生で行うことのできる事柄を理解する。 | | | 8 |
| | | ア 思春期と健康 | | | | | | |
| | | イ 結婚生活と健康 ウ 加齢と健康 | | | | | | |
| 7 | (2)労働と健康 | | | ・労働におけるさまざまな問題を理解し、労働災害に関する正しい知識を身に付ける。 ・ストレス緩和の方法やメンタルヘルスケアに関する正しい知識を身に付ける。 | | | 6 | |
| | ア 労働災害と健康 | | | | | | | |
| | イ 働く人の健康の保持増進 | | | | | | | |
| 2 | 8 | 4 社会生活と健康 | | | ・現代の産業活動は生活をより豊かにするが、環境被害を及ぼす場合があるということを理解する。また、それらは我々の健康と深く関わっていることを理解する。 ・環境汚染に対するさまざまな対策が必要とされており、環境基本法などの法律が制定され、対策が講じられていることを理解する。 ・上下水道の設備や廃棄物の処理方法などの現状を知り、実生活に生かせるようにする。 | | | 7 |
| | 5 | (1)環境と健康 | | | | | | |
| | | ア 環境の汚染と健康 | | | | | | |
| | | イ 環境と健康にかかわる対策 ウ 環境衛生に関わる活動 | | | | | | |
| 11 | (2)環境と食品の健康 | | | ・食品の安全性の確保は、実生活で重要であることを理解する。また、そのためにどのような対策が講じられているのかも理解する。 ・環境と食品の健康を保持していくために、さまざま段階での安全性が求められていること。また、それに関わる多くの人が安心・安全のための役割を果たさなければならないことを理解する。 ・国や地域社会におけるさまざま保健・医療に関する知識を身に付け、実生活で適切に活用できるようにする。また、正しい医薬品との関わり方について学ぶ。 | | | 13 | |
| | ア 食品の安全性 | | | | | | | |
| | イ 食品衛生に関わる活動 | | | | | | | |
| 3 | 3 | (3)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 | | | ・さまざまな健康課題に対して国や世界でどのような保健活動が行われているかを正しく理解する。また、ヘルスプロモーションの考え方を理解し、1人ひとりが健康のために活動できるような実践力を身に付ける。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づき、1人ひとりが健康の保持増進につながるような環境づくりに携われるような資質や能力を身に付ける。 | | | |
| | | ア 我が国の保健・医療問題 | | | | | | |
| | | イ 地域の保健・医療機関の活用 ウ 医薬品の制度とその活用 | | | | | | |
| 3 | 3 | (4)様々な保健活動や社会的対策 | | | | | | |
| | | (5)健康に関する環境づくりと社会参加 | | | | | | |

| | | |
|-------|---------------|--|
| 評価の観点 | 知識・技能 | ・実生活において、適切な意思決定・行動選択を行うための、正しい知識を身に付けている。 ・現代社会における健康・安全について課題解決できる知識を身に付けている。 |
| | 思考・判断・表現 | ・他者と協働しながら、課題設定や課題解決の方法を考えることができる。 ・自分の意見を他者に適切に伝えることができる。 |
| | 主体的に学習に取り組む態度 | ・授業に主体的に参加しようとしている。 ・発問や疑問点を仲間と積極的に考えたり、自ら深く考えることができる。 |